

こころのままに

～Follow your heart～



素直さの先にあるもの

残暑厳しき折ですが、会員の皆様には日頃の協会活動へのご協力誠にありがとうございます。今年も各地で最高気温更新やゲリラ豪雨などの自然の猛威を目の当たりにし、また突発的に起きた心痛む事件など、昨日は人の身、今日はわが身という言葉が脳裏に浮かびます。しかし悲観的になるのではなく、だからこそ毎日を丁寧に大切に生きていきたいと思うのです。

さて協会も3度目の夏を迎え、その間には各地での作品展や体験会が開催されました。その中で今年に入り、視覚障がいのある方にも書画に触れることで新しい世界を感じ喜んでいただきたという、あるメンバーの一言、近人の幸せを願う気持ちから「点図」が生まれました。そして協会は動き始めました。普段から協力してくれているメンバーを応援したいという想いが発端です。

わたしたちに来ること、わたしたちにしか出来ないことを力タチに行動に移すことで、視覚障がい者の皆様にも書画をこころで楽しんでいただき、そして健康者の方々に何か伝わるものがあれば幸いです。

また今回、志乃先生の浮世絵がウズベキスタンという中央アジアにある国へ紹介され、そしてプレゼントされました。ウズベキスタンの首都タシケントは名古屋とパートナー都市協定を結んでいます。その友好の証として志乃先生の浮世絵作品が海を渡ったのです。依頼から渡航までがかなりタイトであった為、刈谷の作品展を開催しながらの作品作りでした。会場で仕上げる志乃先生の想いはまさに表題そのもの。その想いは無事ウズベキスタンへと届きました。

誰かのために何かをしたいと思うことが原動力、それが協会の変わらぬ真髄であると思います。

時は止まってくれませんが、今一度「自分に来ることは何か」に想いをめぐらせてみる、そんな時間も大切ですね。

皆様おひとりおひとりの想いが誰かに届きますように。

一般社団法人 志乃書画協会



おめでとうございます
第7期書画師



このたび第7期書画師に認定されました「オールドルーキー純爺」こと椿野純治、72歳です。

関西出身です。きっかけは、知人の作品を見て「おもしろい、楽しそうな書画やなあ」と感動し、羽新書画教室に通いはじめました。すると、ゴルフ練習より書画練習に夢中になってしまうという大逆転の生活に。そして、今や家族からも称賛を浴び、自己満足ですがエエ気分を堪能しております。男は、リタイア後は粗大ゴミ扱いになる、と言われていますが、純爺は違いまっせ！（笑）趣味は、スポーツ（野球、ゴルフはセミプロ級）、苦手なものは、鶏肉・納豆・トマト。そして、大大大好きなのは、お酒です。どうぞよろしくお祈いします。

はじめまして。「洋助（ひろすけ）」こと渡辺洋美と申します。ゴルフが大好きなアクティブ派でしたが、こころの書に出会い、集中することや達成感をもてる感覚が、ゴルフととても似ていると感じ、大好きになり、今にいたります。こころの書を通じて、たくさんの仲間と、たくさん笑顔になれたらいいなと思っています。心揺さぶる素敵な言霊（ことだま）が閃くよう、精進します。どうぞよろしくお祈いいたします。



2日間で12時間という長い講習で教えて下さる先生方も大変ですが大変有意義な講習でした。私にとって特に有意義だったのは、絵と文字のレイアウトに対して文字の大小・太さ・形などをどの様に書くとより味のある書画になるのかというパターンを幾つか学べたことです。奥深さを感じることができました。自分でも色々試してみたいと思いました。



書画師認定おめでとうございます。認定を受けた時から「生徒から教える立場の先生になったということ…。」いちばん大切なことはあなた自身が笑顔でいて、教室にきてくださる方を笑顔にしてあげること。指導とは導くことで教えることではありません。たくさんの方に愛されまくる先生になってくださいね。西尾志乃舞



梅雨の狭間、楽しく充実の2日間でした。お手本を元に描くことは好きながら、白い紙に自由に描くとなると、頭まで真っ白になってしまい苦手でした。この講習の中では、先生方から流れてくる熱と、新しい描き方への面白さで、予想を超えて手が進みました。対面で教えて頂く事の強さを感じました。毎月の講座は、貴重な癒しの時間を過ごせる、慌ただしい日々の中の私のオアシスです。こころの書という、文字や絵を描く事に夢中になれる場所ができ感謝です。これからもよろしくお祈いします。

2日間ありがとうございました。自分では描かない字体や使用した事のない技法で幅が広がりました。これから、アシストメンバーとして沢山の作品を作っていくように邁進していきます。仕事の都合で火曜日に開講して下さってありがとうございました。また7月2日の認定式に参加出来ず申し訳ございませんでした。

2日間に渡り、なかなか教えて貰えない貴重な書画手法や基本的な事柄が理解出来ました。自分自身それなりの自信で受講しましたが、ガクガクと崩れ落ちました。頭で理解出来ていても、今の自身の技量で、即表現が出来ていない自分に苛立ちがあり、奥深さに戸惑いさえ感じています。この素晴らしい書画を、自身で更に習得し、好きでやり始めた「こころの書」を自分のものにしていきます。

色の使い方やグラデーションなどのさまざまな技法を学び「こんなに素晴らしい技があるんだ」とあらためてこころの書の奥深さに感激いたしました。これからもっと切磋琢磨し、自分の作品に活かしていこうと思います。ご指導ありがとうございました。

第7期 新書画師の坂崎るり子先生・鈴木美香先生の記事は次号ご紹介いたします。お楽しみに！

創作課題 提出作品

今回のテーマ

- 「さらさら」
- 「おもい」
- 「黄色」
- 「ウキウキ」

ウキウキ



古川信朗
「懐かしい唄」

最近では、昔に聞いた唄がデジタルリマスターされてPCやスマホで聞けるのがありがたいです。



坂崎るり子
「朝日」



心仙
「う巻きで元気！」



椿野純治
「キッズダンス」
孫の運動会でのダンス風景を小熊ちゃんて表現してみた。



吉田恭子
「明日どこ行く？」

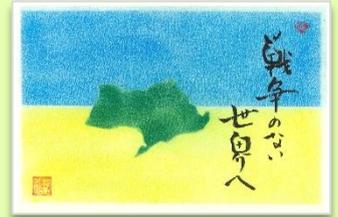


洋助
「ゆっくりと…」

おもい



椿野純治
「感謝の気持」
自身の手を模写し愛する人への感謝の気持ちを表現したく作成した。



後藤佳子
「ウクライナを思う」



益田記代
「重い想い」



洋助
「想い」



心仙
「私とどちらが重いかな？」



古川信朗
「菖蒲」
「希望」と言う花言葉は皆の願いであり思いですね。



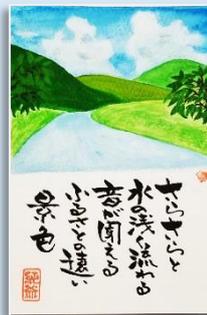
勝海幸子
「すべてが愛」



坂崎るり子
「2人の思い」

さらさら

椿野純治
「ふるさとの小川」
山と川の風景を描きたく小川のサラサラ感を思い作成した。



古川信朗
「小説家」
いまだき、ペンで書く方は少数派だろうけれど味があっていいと思います。



高橋 隼
「積もる砂」



勝海幸子
「忘れることも大切」



後藤佳子
「笹の葉」



太田力
「浮き輪がウキに引かれてウッキッキー」



益田記代
「未来日記」



高橋翰
「enjoy」

黄色



鈴木恵美子
「Summer 楽しいね」



後藤佳子
「とうもろこし」



吉田恭子
「こころの駅」



亜香里
「庭の向日葵」



心仙
「健康第一」



椿野純治
「平和の祈り」
ウクライナの国花のひまわりで平和の文字を入れて表現したかった。



坂崎るり子
「幸せは自分で作る」



古川信朗
「プリン」
黄色と言えばプリンが思い浮かびました。大好きです。

「書画を楽しみましょう」
書画を始めた最初のうちは、筆で絵や字を書くことが面白くてしかたなく、お手本を真似てみたり、自分で工夫してみたり、どんどん書きまくっていたと思います。
書画師としてさらに一歩進んで自分自身の書画、自分自身の作品を作るために日頃からいろいろなものに触れ、様々な経験を積んで視野を広めておくことが大切です。
次号の課題も発刊される時期の季節感をいっぱい出して素敵な作品をたくさんお待ちしております。

西尾志乃舞

創作課題募集

感動を生む文字と絵のマリアージュ

新たな可能性
柔軟な発想



上記の4つの語句からイメージする絵や言葉で自由に作品作りをしてみましょう。
注意点 「バランス」「筆圧の強弱」「レイアウト」「オリジナル」「美しく」「かわいらしく」

☆ハガキでも色紙でも何でもOK

☆次回会報に掲載します！

☆メールでの提出をお願いいたします。

メールの件名に「創作作品・〇期 氏名」、メールの本文に「テーマ・タイトル・作品への想い(任意)」を入力し、作品の写真を添付して送信してください。

締め切り：11月20日(日)

作品はスキャンしたものをJPGまたはJPEG形式で添付してください。



提出先メールアドレス：kokoro@s-shoga.or.jp



あすけ

足助交流館 作品展 & 体験会 2022.3.10～4.9

あすけ ちゅうま

足助・中馬のおひなさんでにぎわった 展示会と体験会

江戸時代から明治後期まで多くの人の往来があった中馬街道。その街道が通っていた豊田市足助町は、今でもかつてのノスタルジックな面影を残しています。

冬の寒さが和らぎ、花の芽吹きとともに春の訪れを少しずつ感じる季節。

足助交流館にて3/10(木)～4/9(土)まで『いいじゃん NIPPON』の作品展が開催されました。

この期間中は「中馬のおひなさん」「カタクリの花」「春まつり」のイベントが開催され多くの方々の来訪があります。

江戸時代に物資の運搬でにぎわった中馬街道。信州と三河を結ぶ街道を通る足助町はその中継地点として多くの方が足を止め、交流を深めていました。

「中馬のおひなさん」は古くから伝わるおひなさんなどを玄関先や店先に飾り、道行く人に街並み散策を楽しんでいただこうと始まった町をあげての大きなイベントです。

「おひなさん」最後の3/12(土)・3/13(日)にはこころの書の体験会を開催出来、たくさんの方におまつりとともに書画を楽しんでいただきました。

ノスタルジックな街で日本をテーマにした作品と、榮春先生のこだわりの展示が相まってすてきな作品展になりました。

交流館利用者の方々が今後の展示の参考にしたいと仰っていたことを伺いました。

こころの書をたくさんの方に知っていただく機会を増やしていきたいなと思います。



感想 (アンケートより)

- ・素晴らしい体験をさせて頂きとても勉強になりました。ありがとうございました (50代女性)
- ・筆ペンで色々な文字が普段とは違う感じになってとても面白かったです。家でも子供たちと楽しみたいです (40代女性)
- ・とても楽しく上手に教えていただきありがとうございます。楽しかったです (40代女性)
- ・大変見応えがありました (50代男性)
- ・はじめての体験で良かった (50代女性)
- ・素晴らしい。見せていただけで良かった (70代女性)
- ・ほっとするような絵ですね。良いと思います (70代男性)

体験会に参加して、コロナで人が集まるのか心配しましたが、たくさんの方が体験してくれて、作品を見て「本当にこれ私が描いたの?!」と嬉しそうに帰って行かれました。皆さんが笑顔になれる交流が出来て幸せです。

1期 鈴木伸枝



いいですねという声かけも大事ですが、普段書いている字とは違い、その文字のもつイメージを表現して頂けるようにコツをお伝えしています。なぜこのお題を選んだのか、などうかがっていると様々なお話が聞けて、私自身感動し勉強させていただく事がたくさんあります。体験会はまさにここところとここところを繋げる場で、こんな協会があるんだと記憶に残るようなひとときを心がけています。

1期 吉田恭子



体験会に初めて参加させて頂いて「私この字が好きなのよね～」と言って見ていた方も自分の書かれた字に頬がゆるんだ顔。私もホッと、何気ない人と人の結びつきが大切なんだと実感しました。

1期 中根宮子



お天気に恵まれた体験会。2日間参加させて頂きました。「描けるかな?」と言っていた方も作品が仕上がると満足気な表情に…。体験会はたくさんの方に「こころの書」を知っていただく場であり、先生方との交流の場でもあります。実りある2日間でした。

1期 中嶋圭子

いいじゃん NIPPON

3月12日ポカポカ陽気の中、足助交流館での体験会のお手伝いをさせていただきました。お子様から大先輩までのたくさんの方々に筆を持っていただけたこと、描き終えたあとの笑顔…笑顔。お天気もさる事ながらこころもポカポカになった1日になりました。

2期 高橋美樹

展示会 猫作品介绍

猫ちゃん 足助の中馬街道へ

瀬戸・岐阜を経て豊田市足助交流館のロビー展へ。
 猫ちゃんを豊田でも展示できないかと場所を探しました。足助は2月3月と「中馬のおひなさん」という街ぐるみでおひなさんを展示するイベントを開催するため、集客があります。同じ猫ちゃんたちも場所が変われば雰囲気も変わり、たくさんの方に見て頂けました。作品は何回かに分けて、会報で紹介いたします。お楽しみに！



愛知 瀬戸信用金庫
栄町支店



愛知 足助交流館



岐阜
ハートフルスクエアG



西尾志乃舞
「I Am a Cat.」



榮春
「おかえりなさい」



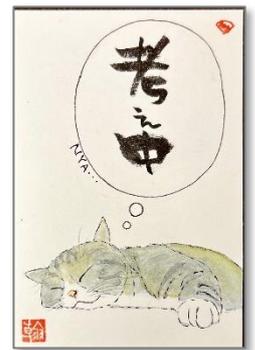
西尾志乃舞
「優しく生きる」



益田記代
「私のお気に入り」



岡本比子
「丑三つ時」



高橋翰
「寝てないし」



長屋月優
「福よ来いこい」



岡本比子
「至福の時間」



亜香里
「外を見つめる猫」



西尾志乃舞
「今日の幸せを」



勝海幸子
「仲良し」



西尾志乃舞
「Effort」



鈴木恵美子
「いつでも仲良く」



高橋翰
「しなやかに」



益田記代
「私のお気に入り」



高橋翰
「見える??」



西尾志乃舞
「ちょっと休憩」



寺村節子
「地道に」



鈴木伸枝
「子育て」



中嶋圭子
「Sleepy」



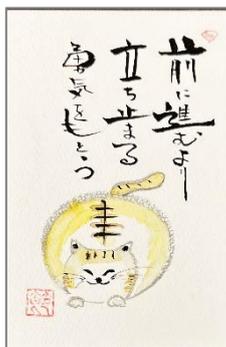
田端美佳
「猫の眼」



高鍬典子
「我慢」



犬飼幸子
「ビューティーにゃんこ」



寺村節子
「たまには」



西尾志乃舞
「吾輩は猫である」



岡本比子
「大量大漁」



松井則道
「優しさに包まれて」



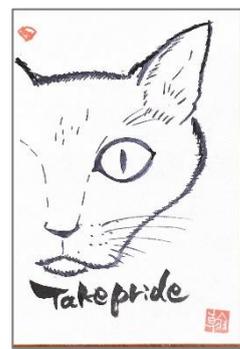
西尾志乃舞
「ありがとう」



寺村節子
「頑張れ自分」



中嶋圭子
「待ってるよ」



高橋翰
「プライドを持とう」



岡本比子
「見返り美猫」



鈴木恵美子
「感謝」



寺村節子
「人生いろいろ」



勝海幸子
「夢」



松井則道
「おかえり！」



7月16日(土)・17日(日)・18日(月・祝)

刈谷市総合文化センター作品展

テーマ「夏」

触れる「点図」
書画

飾れる「体験会」
書画

を開催しました。



目的と経緯

一般社団法人志乃書画協会 ところの書の認知度を上げるため5月下旬より豊田市でご活躍中の1期鈴木伸枝先生の呼びかけで、作品展および体験会のお話を進めてまいりました。



5月

会場下見

5/28 作品募集開始

6月

6/24 作品回収
チラシ等の作成
体験会用紙色紙準備
アンケート見直し

7月

会場再下見

作品再募集

本部にて展示作品準備

7/15 午後より搬入

7/19 午後より搬出



協会準備品

- ・消毒
- ・筆ペン
- ・練習用紙
- ・画仙色紙
- ・アンケート回収箱
- ・お題
- ・アンケート用チラシ

- ・チラシ
- ・ネームプレート
- ・点図作品
- ・協会のぼり
- ・紙・鉛筆
- ・透明ビニール
- ・テーブルクロス
- ・トレース台
- ・各種パネル

会場でお借りできたもの

- ・ピクチャーレール
- ・パーテーション
- ・スタンドライト
- ・脚立
- ・長テーブル
- ・いす

あったら良かったもの

- ・延長コード
- ・ごみ入れ
- ・保冷バッグ

点図 「触れる書」への取り組み

アシストメンバー古川さんと従妹の方より、視覚障がいのある方にも書画を楽しんでいただきたい、というご提案がありました。そこで生まれたものが「点図」です。今回の刈谷で初めて作品が展示・実演されました。



点図への感想（アンケートより）

- ・心があたかかくなれる。今後も機会を作るべき（80代女性）
- ・やさしさやぬくもりを感じました（50代男性）
- ・素晴らしいことです。喜ばれる方がたくさんいらっしゃると思います（40代男性）
- ・全盲の方に喜んでいただいているとお聞きし、幸福な気持ちになりました（50代女性）
- ・見えない方にも作品が見えると思います（50代女性）
- ・普及していけば良いな、と思いました（50代女性）

作品展

テーマ 「夏」 Summer Breeze



搬入・搬出メンバー

- ・西尾志乃舞
- ・鈴木伸枝 (&ご主人様)
- ・榮春
- ・鈴木美香
- ・岡本比子
- ・古川信朗
- ・鈴木恵美子
- ・吉田恭子



工夫したところ①
入れ替えしやすいようにゴムに変更

工夫したところ②
すぐに展示できるよう事前準備



作品展への感想 (アンケートより)

- ・どの作品も素晴らしい作品で感動しました (女性)
- ・書画師が認知され、かかわる皆様が元気になると思います (50代男性)
- ・素敵な作品を拝見できて、心豊かになりました (50代女性)
- ・夏というテーマがあり分かりやすかった (60代女性)
- ・日本の良さを再確認できました (50代男性)
- ・浮世絵素敵!! (60代男性)

体験会 「飾れる書」 1体験 200円



体験会メンバー

- ・西尾志乃舞
- ・鈴木伸枝
- ・古川信朗
- ・榮春
- ・椿野純治
- ・吉田恭子
- ・犬飼幸子
- ・中嶋圭子
- ・大田久美江
- ・長屋優子



体験会への感想 (アンケートより)

- ・もっと描きたくなりました (50代女性)
- ・たまたま立ち寄りでしたが、とても良い体験ができ嬉しく思いました (70代女性)
- ・体験ができる、自分で作ったものを持ち帰ることができるのが嬉しいです (40代女性)
- ・とても楽しい時間をありがとうございました (50代女性)
- ・楽しい時間を過ごせました。帰宅したら書いてみよう! (60代女性)
- ・体験をしてみて、自分でもあんなに素敵な作品が作れて嬉しかったです (30代女性)



3日間で来場者は100名以上。アンケート回収はおよそ60枚でした。期間中の詳細は協会ホームページにて。ぜひご覧ください!

第3回書画師活動のひとコマ

「こころの書 記代書画教室」2期 益田記代先生 神戸市在住
(インタビュー 1期 中嶋圭子)

中嶋圭子(け):講座を開催している場所とそこに決めた経緯を教えてください。

益田記代(記):「カフェ Glad's」は自宅最寄りの駅に近い駐車場のある喫茶店を探してオーナーに交渉。「美容院 アルティ」は友人がオーナーで作品を見せ交渉。「とき珈琲店」は行きつけの喫茶店でオーナーに交渉しました。

「レンタルスペース ノース10」はトライアル講座を開催し、好評だったため9月から毎月開催することとなりました。



講座開催場所

(け):各講座はどれくらいの頻度で開催していますか?また場所代はかかりますか?

(記):各講座の開催回数と人数は「Glad's」が月4・5回2名様まで。「アルティ」は月1回5名様まで。「とき」は月1回3~5名様です。講座代は飲食店の場合、講座代+ワンドリンクが1講座の料金となります。「ノース10」は月2回5名様までです。こちらはレンタルスペースのため場所代が発生します。

(け):講座を開催してのひとことをお願いします。

(記):初めての講座で6名集まり、同期の太田先生に来ていただきありがたかったです。教える事と自分で描く事は作業が異なります。初めての講座は少人数がお勧めです。

○カフェ Glad's
〒657-0065
神戸市灘区宮山町3丁目
1-18
TEL:078-861-0057

○美容室 アルティ
〒657-0051
神戸市灘区八幡町
2丁目7-16
TEL:078-811-1153

○とき珈琲店
〒650-0022
神戸市中央区元町通
2丁目4-3
TEL:078-391-8727

○ノース10
〒657-0065
神戸市灘区宮山町3-3-1
六甲駅前ビル4階
TEL:078-891-3018

本部日程

	月例 3部制 10:30~12:30 14:00~16:00 18:30~20:30 (酔書乃会)	志乃先生 講座 10:30~16:30 1~3講座
9月	15日(木)	7日(水)・29日(木) 26日(月) 14:00~
10月	2日(日) 年賀状講座	8日(土)・20日(木)
11月	12日(土)	17日(木)・23日(水・祝) 28日(月)
12月	15日(木) 月例&忘年会	8日(木)・21日(水) 18日(日)浮世絵講座

※講座の日程は変更になる場合があります。

☆A2Care 報告書の集計
4月 265名/5月 222名
6月 246名/7月 207名

A2Care 報告書は翌月5日までにメールでの提出をお願いいたします。
件名に A2Care 報告書と入力下さい。提出先メールアドレス: kokoro@s-shoga.or.jp

☆本部作業日: 4月 3. 14. 20日/5月 19. 24. 25日/6月 5. 16. 19. 23. 25. 30日/7月 7. 22. 27日

~描きもの豆知識~ その3

講座でパステルを使われる際に手が汚れてしまうことがあると思います。そんな時、絆創膏を指に貼ってぼかしていくと指が汚れることが軽減されます。

さらに絵をやさしくぼかしたい時にはメラミンスポンジがおすすです。消しゴムほど綺麗に消えるわけでもなく、指でぼかすよりも素敵に仕上がります。ぜひお試しください。

その他の日程

- ◆第8期書画師・第3期アシストメンバー
認定試験 10:00~17:00
名古屋本部: 9月25日(日)
神戸会場: 開催日未定
- ◆スキルアップ講習
名古屋本部: 10月1日(土)・10月9日(日)
神戸会場: 開催日未定
- ◆認定式: 11月20日(日): 会場・時間未定
- ◆甚目寺南小学校: 10月28日(金)
- ◆足助地区ふれあいまつり: 10月15(土)~23日(日)
- ◆足助地区ふれあいまつり体験会: 10月23日(日)

一般社団法人
志乃書画協会®

〒461-0001
名古屋市東区泉一丁目14番3号 HASEGAWA ビル5E
TEL:052-253-5562 FAX:052-253-5182
<https://s-shoga.or.jp> info@s-shoga.or.jp



こころのままに

次号発行
12月20日頃
【会報委員】
鈴木知子・中嶋圭子・吉田恭子
【編集】
大野蝶子